

## 第1回 今後の社会資本のあり方に関する懸賞論文 受賞結果を発表します

令和5年3月15日  
一般財団法人国土技術研究センター

一般財団法人国土技術研究センターでは、2017年と2021年に実施した「社会資本に関するインターネット調査」の結果を活用して、今後の社会資本整備のあり方や論点などを明らかにされることを期待して懸賞論文を募集しました。

審査委員会による審査の結果、優秀賞1編と佳作2編の受賞が決定しましたので、以下の通り発表します。

### ◆学生の部 優秀賞 「社会資本に対する関心を持つための取組に関する一考察」

東京都立葛西工業高等学校 内山 柚芽さん  
上岡 優牙さん  
檜館 陽天さん  
丸岡 柊樹さん

◆一般の部 佳作 「コロナと脱炭素が及ぼす意識変化と社会資本の将来」  
寺田 高久さん

◆学生の部 佳作 「社会資本老朽化の地域格差」  
南山大学総合政策学部 奥村 桃子さん  
大竹 春菜さん  
田中 美紅さん  
大野 世莉さん  
上野 真美さん

※ご所属は論文応募時のものです

### ◆石田 東生 審査委員長の講評

受賞されたみなさま、おめでとうございます。応募された論文はいろいろな着眼からの研究・考察であり力作ぞろいでしたが、一般の部より佳作1編、学生の部より優秀賞1編、佳作1編を表彰させていただきました。優秀賞の論文は、身近な社会資本について自ら調べ考え、活動として実践しているなど高校生らしい熱量があふれるものでした。

さて、土木学会の「コロナ後の日本創生と土木のビッグピクチャー」では、社会資本・インフラは私たちの生活経済社会の営みにとって不可分な存在で、インフラが今の私たちの暮らしの「あたりまえ」を支えていると指摘しています。

本懸賞論文は、多くの方に社会資本整備（インフラ）に興味を持っていただきたい、貴重な調査データを活用いただきたいという想いで企画したものです。今回は調査データの活用・分析という面で、企画の意図が伝えきれなかった点が反省点として残りました。そのため、再度懸賞論文の募集を行う予定です。是非、多くの皆様に興味・関心を持っていただくとともに、論文への応募をいただければ幸いです。

### ◆土木学会のビッグピクチャーの展開等と連携し、第2回懸賞論文を募集します

- ・募集期間：2023年3月末～2023年11月上旬（予定）
- ・応募資格：一般の部及び学生の部、個人又はグループ
- ・表彰内容：最優秀賞1件、優秀賞2件程度、佳作複数件
- ・結果発表：2024年3月頃を予定
- ・詳細はJICEホームページにて発表します